

## 第7回 平成28年度 J-クレジット制度の動向

制度開始から4年目を迎えるJ-クレジット制度。平成28年度業務が開始され、6月1日に第17回J-クレジット制度認証委員会行われました。プロジェクト登録件数は176件、認証件数は累計で195件(1,052,373t-CO<sub>2</sub>)となっています。今後も2か月に1回程度で認証委員会が開催される予定です。

平成27年11月より、排出係数の調整等で利用されていた京都クレジットが制度上、使用できなくなったため、京都クレジットの代替として国内産CO<sub>2</sub>クレジットの需要が高まっています。審査機関やサポートするソフト支援機関も今まで以上に効果的・効率的にプロジェクト計画を発掘・創出し、J-クレジット(中部産CO<sub>2</sub>クレジット等)の発行・活用を進めております。

中小企業様、社会福祉法人様、大学様におかれましては、J-クレジットの計画登録やクレジット発行に係る無料の支援制度がございます。支援対象は、今年度よりCO<sub>2</sub>削減見込量が100t-CO<sub>2</sub>/年以上のプロジェクト(従前:30t-CO<sub>2</sub>/年)になり、一定の規模が必要となりました。

他方、従来と変わらずJ-クレジット制度が開始された平成25年4月1日以降に実施された設備投資をまとめて申請することができます。また、エネルギー使用合理化等事業者支援補助金、省エネ・生産性革命投資促進事業費補助金等を受けた設備も対象とすることができます(一定の条件等がございます)。削減したCO<sub>2</sub>をJ-クレジットとして認証することができれば、クレジットの売却益収入により投資回収を補うことができますし、何より温暖化対策に積極的な企業、団体としてPRにもつながります。

J-クレジット制度(中部産CO<sub>2</sub>クレジット等)についてもっと詳しく教えてほしい、当社も設備投資をしているので可能性を診断してほしいなどのご要望がありましたら、ソフト支援事業実施機関(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)名古屋)までお気軽にお問い合わせください。

(ソフト支援事業実施機関)

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 名古屋  
コンサルティング・国際事業本部 経営戦略部  
担当:松田  
〒461-8516 愛知県名古屋市東区葵 1-19-30  
電話 052-307-1102



\*\*\*\*\*

中部Jクレ コラム バックナンバー

<http://www.chubu.meti.go.jp/d34j-credit/platform/column/column.html>

[第1回]地球のために1トン数千円から

[第2回]削減したCO2を売るには？

～J-クレジット制度活用のポイントあれこれ～

[第3回]クレジット購入企業の社長に聞く ～株式会社アユセン～

[第4回]教えて！CO2クレジットの売買

[第5回]北陸の温泉旅館におけるヒートポンプ導入によるCO2削減事例

～株式会社ふくみつ華山温泉～

[第6回]カーボン・オフセットを活用した商品開発

\*\*\*\*\*